



中央図書館開館40周年記念

図書館の歴史を振り返る

中央図書館は、昭和47年に実施した市政世論調査の際に、多くの皆さまから寄せられた開設希望の声にお応えするため、当初の計画を早めて昭和49年8月15日に、市内最初の公立図書館として開館しました。開館にあたっては、都立図書館の職員や市議会議員、地域文庫や読み聞かせの活動をしている方の意見も聞き、子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に立ち寄り、市民の本棚として親しんでいただける図書館を目指しました。

今号では、40周年を迎えた中央図書館の歴史を振り返ります。

問合せ 中央図書館 ☎ 493・4326

同57年には野塩図書館、平成6年には竹丘図書館、同7年には駅前図書館が開館し、清瀬市立図書館ネットワークが完成しました。駅前図書館の開館に伴い、元町図書館は児童書の専門図書館として生まれ変わり、平成22年度には館内の書架やテーブルをすべて児童用に替え、名称も「元町子ども図書館」と改めました。

開館当初から、各図書館が独立して運営するのではなく、資料の収集は中心館である中央図書館が担い、職員の配置も全館の職員で補充するネットワーク体制を構築し、全6館が均一のサービスを提供できるよう心がけています。

昭和57年、開館当初は、貸し出しを記録する際、ビデオテープに貸し出す本と借りる人の利用カードを一緒に撮影して保存し、返却期限を過ぎた段階でビデオテープと照合

図書館の出発

中央図書館は、当初約2万冊の蔵書で出発しました。現在では、約12万8千点(1万6千冊)の図書と1万2千点の視聴覚資料の資料があります。

市内全図書館では約42万8千点の資料があり、今年4月には、40年間の市内全図書館での総貸出点数が2千万点を超え、6月30日時点で2千38万8千点の資料を皆さんにご利用いただいています。

その後、昭和52年に下宿図書館、昭和51年、清瀬駅に近い清瀬市民センター(現清瀬びやきホール)に元町図書館(現元町子ども図書館)が開館しました。

開館当初から、各図書館が独立して運営するのではなく、資料の収集は中心館である中央図書館が担い、職員の配置も全館の職員で補充するネットワーク体制を構築し、全6館が均一のサービスを提供できるよう心がけています。

昭和57年、開館当初は、貸し出しを記録する際、ビデオテープに貸し出す本と借りる人の利用カードを一緒に撮影して保存し、返却期限を過ぎた段階でビデオテープと照合



	昭和 49 年度	平成 25 年度
市の人口	59,392 人	74,247 人
図書館数	1 館	6 館
所蔵数	27,815 点	427,743 点
登録者数	12,430 人	77,594 人
年間貸出数	121,998 点	619,719 点
累計貸出数	121,998 点	19,993,570 点
年間予約数	未実施	108,491 点

いずれも 3 月 31 日時点



元町子ども図書館再開記念の「おはなし会」

昭和57年、開館当初は、貸し出しを記録する際、ビデオテープに貸し出す本と借りる人の利用カードを一緒に撮影して保存し、返却期限を過ぎた段階でビデオテープと照合

昭和57年、開館当初は、貸し出しを記録する際、ビデオテープに貸し出す本と借りる人の利用カードを一緒に撮影して保存し、返却期限を過ぎた段階でビデオテープと照合

また、昨年「清瀬市にゆかりの作家コーナー」として、石田波郷氏の著作を集めたコーナーを中央図書館に設置しましたが、結核療養や病院関連の地域資料としても、市独自の貴重な文化資料として、収集・保存に力を入れていきたいと思えます。50周年に向け、今以上にサービスの充実を努めていきます。

中央図書館の開館前からお世話になっているお二人に、図書館に対する思いなどを伺いました。

小苺米さんは、図書館の事業や方針などについて話し合う「図書館協議会」の会長です。教育委員を務めていたころから、図書館の事務・事業に対してとても熱心であり、同協議会の初代会長に就任していただきました。



中央図書館の40周年を節目として、これからの図書館に対する思いを市民の立場から2つ伝えます。

1つ目は、「一歩踏み出した企画」の必要性です。図書館や博物館は、「自分が実際に体感できる市の行政の最先端」だと思います。その点を考慮し、例えば40周年を記念した



開館40周年記念事業～特別展示「ベストセラーで見る40年」

図書館が開館して40年。その年だけのブームで終わってしまった本、未永く読まれ続けている本、さまざまなベストセラーを展示して40年を振り返ります。

日時 8月15日(金)～9月14日(日)午前10時～午後5時 (月曜休館。水・木曜日は午後7時まで)

場所 中央図書館2階読書室

年	書名	著者	図書館のあゆみ
昭和49	かもめのジョナサン	リチャード・バック	8月 中央図書館開館
50	播磨灘物語 (上・中・下)	司馬遼太郎	
51	限りなく透明に近いブルー	村上 龍	4月 田無市との間で相互貸借事業開始 8月 元町図書館開館 8月 下宿図書館開館
52	間違いだらけのクルマ選び (正・続)	徳大寺有恒	
53	人間革命 (10)	池田大作	
54	算術占星学入門	和泉宗章	
55	蒼い時	山口百恵	
56	窓ぎわのトットちゃん	黒柳徹子	4月 田無市・保谷市・東久留米市との間で相互貸借事業開始 7月 野塩図書館に初めてコンピュータシステムを導入
57	プロ野球を10倍楽しく見る方法	江本孟紀	
58	気くぼりのすすめ	鈴木健二	
59	プロ野球しらなきゃ損する	板東英二	
60	スーパーマリオブラザーズ 完全攻略本	ファミリーコンピュータマガジン編集部	1月 中央図書館にオフィスコンピュータを導入し、書誌データの作成開始
61	サラダ記念日	徳 万智	
63	ごんたにヤせていいのかしら	川津祐介	
平成元年	TUGUMI	吉本ばなな	
2	愛される理由	二谷友里恵	
3	Santa Fe	宮沢りえ (篠山紀信撮影)	10月 多摩六都 公立図書館の広域利用開始
4	それいけ×ココロジ (1・2・3)	それいけ!!! ココロジ編	6月 全館 オンラインシステム開始
5	人間革命 (12)	池田大作	
6	日本をダメにした九人の政治家	浜田幸一	9月 竹丘図書館 開館
7	遺書	松本人志	1～6月 中央図書館が火災のため休館 10月 駅前図書館開館
8	脳内革命	春山茂雄	



10月5日(日) 10月18日(土)

阿刀田高氏と内藤直子氏による 講演会

①阿刀田高氏：第81回直木賞受賞、山梨県立図書館館長
②内藤直子氏：東京子ども図書館所属。読み聞かせなどの児童サービスの専門家

日時 ①10月5日(日)午後2時～3時30分②10月18日(土)午後2時～3時

場所 いずれもアミューホール

※詳細が決定次第、市報または市ホームページなどでお知らせします。

ぬいぐるみお泊まり会



竹丘夏の子ども会



下宿子ども読書の日



市立図書館のこれから

インターネットでの図書の購入や電子書籍が普及し、子どもの活字離れが進むなか、公共図書館を取り巻く状況も刻々と変わってきています。市民の本棚として、本があるだけで満足していただいた公立図書館から、今後は、より良質な図書や正確な情報を収集・発信し、市民の皆さんが生活する上で生じた課題や疑問の解消に、少しでもお役に立てる存在になりたいと考えています。

また、昨年「清瀬市にゆかりの作家コーナー」として、石田波郷氏の著作を集めたコーナーを中央図書館に設置しましたが、結核療養や病院関連の地域資料についても、市独自の貴重な文化資料として、収集・保存に力を入れていきたいと思えます。50周年に向け、今以上にサービスの充実を努めていきます。



ぬいぐるみお泊まり会に参加した子どもたちのぬいぐるみ

いろいろなサービス

図書館では貸出サービスの他にも、いろいろなサービスを行っています。

例えばハンディキャップサービスとして、障害などで来館が困難な方へ、資料の宅配や郵送を行っています。また、図書館音訳ボランティアの方により、対面朗読や音訳図書の作成も行っています。音訳図書は、「広報東京都」が5月分からDAISY(CD版)でも利用可能になった他、市報などの公的資料もありますので、職員にご相談ください。

児童サービスについては、図書館読み聞かせボランティアの方たちの協力で、ブックスタート事業



元町子ども読書の日

広域連携

開館当時、区市町村立図書館とって相互協力といえば都立図書館から図書を借りることでした。昭和51年、旧田無市と清瀬市の図書館間で、その後、旧保谷市と東久留米市も加わり4市による相互貸借事業を開始しました。現

開館当時、区市町村立図書館とって相互協力といえば都立図書館から図書を借りることでした。昭和51年、旧田無市と清瀬市の図書館間で、その後、旧保谷市と東久留米市も加わり4市による相互貸借事業を開始しました。現

開館当時、区市町村立図書館とって相互協力といえば都立図書館から図書を借りることでした。昭和51年、旧田無市と清瀬市の図書館間で、その後、旧保谷市と東久留米市も加わり4市による相互貸借事業を開始しました。現